

# 「たたいた音で強度がわかるなんて」

## 東京首都高で職業体験プログラム

二十七日、東京都千代田

区の首都高速道路株式会社

で、小学五、六年を対象に

した職業体験プログラム

「首都高の最前線」が開か

れました。

百人を超える応募の中か

ら抽選で選ばれた十七人が

参加。午前中は高速道路が

合流する設備「大橋ジャン

クション」(東京都目黒区)を見学し、午後から実際の現場でも行われている作業を体験しました。

電磁波リーダーで壁や柱の中にある鉄筋の場所を特定する調査では、テーパーや友だちの背中などにも当てて、金属の有る無しを示すクラブが鉄のある場所と比べてどう変わるのか確かめました。

六メートルほど上にある高速道路の強度を調べる点検は、高所作業車に乗って作業。落ちないように気をつけながら、ハンマーで道路をコツコツたたきます。

采沢玲央くん(東京・五年)は「たたく音だけでコンクリートの強度を確かめるのは難しかった。今度高速に乗るときは、どこにジャンクションがあるかなど、注意して見たい」と話しました。



コンクリートの強度調査の体験をする小学生二十七日、東京都千代田区の首都高速道路株式会社で

(松村 大行)